



田口 裕司  
たぐち ゆうじ  
誠友会  
(50分)



企業の人材確保への取り組みは

**問** 7月時点の福山公共職業安定所のデータで、有効求人倍率は1・64である。どの業種でも慢性的な人手不足を感じる状態であり、人材不足解消に向けて採用活動に力を入れながら離職につながらない会社づくりを進めることも大事である。全国の働きやすい職場環境の事例などを市内企業経営者と共有し離職につながる職場環境づくりを進めることが人手不足の解消にもつながると考えますが、定着率を高める取り組みへの考えは。

**答** 働きやすい職場環境の事例などを事業者間で共有することは有効な取り組みの一つである。環境への配慮や子育てしやすい職場づくりなどに積極的に取り組む魅力ある企業を増やし、その存在を内外に発信する(仮称)グリーンなものづくり企業プラットフォームを年内に立ち上げ、企業の成長と人材確保、定着率の向上につなげる。



小島 崇弘  
こばたけ たかひろ  
誠友会  
(60分)



自転車用ヘルメット着用の普及啓発は

**問** 自転車用ヘルメットを着用していない大人も散見される。自転車安全教室のような普及啓発の取り組みなど、事故の多い高校生や高齢者等の大人向けの安全啓発活動をさらに強化していくことも重要と考えるが。

**答** 現在、高校や地域での出前講座において、着用が努力義務化されたことや事故の際の被害が軽減されることなど、着用の意義を周知している。



また、学校や駅周辺、商業施設において、自転車利用者に対する声かけやチラシの配布などにより啓発を行っている。引き続き、警察などと連携し、着用の促進に取り組む。  
\*その他、高齢者、外国人の雇用促進、物流の2024年問題、ゲートキーパーの普及、発達障がいのある子どもへの支援について質問しました。



荒玉 賢佑  
あらたま けんすけ  
誠友会  
(60分)



福山市立大学の学部新設は

**問** ①構想策定のため有識者による検討委員会が設置されるとのことだが構成メンバーや策定に向けたスケジュールは。②教員の確保と育成したデジタル人材の市内での活躍という課題をどう考え、また法人の設立団体としてどう取り組むか。

**答** ①委員は、産業界や教育界の有識者をはじめ本市職員や大学の役員などを予定している。今後、高等学校や企業を対象としたニーズ調査を踏まえ、年度内に基本構想を策定していく。

②教員の確保は、専任の教員のほか、他大との兼務や企業等での実務経験者の活用など、さまざま考えていかなければいけないと思っている。また、いかにして市内企業への就職につなげていくかが重要であるため、地元の学生が進学しやすい推薦制度や奨学金制度の導入、インターンシップの拡充などを検討していく。



福山市立大学のキャンパス